

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

3月19～22日

地域の役に立ててうれしい 東星渡部建設が社会貢献活動



感謝状を受け取る山村社長左

東星渡部建設(山村五十三代表取締役)の皆さんが3月19日から22日にかけて、旧クアハウス屈斜路で

間仕切り壁の撤去などを行いました。2008年4月から休館していたクアハウス屈斜路を、今年度から木育体験や林業歴史資料の展示、地域住民の集会施設として再利用するにあたり、町で改修工事を行う予定だったところを、同社が社会貢献活動として施工したものです。30日には徳永町長から同社に感謝状が贈られました。山村社長は「普段から町にお世話になっている。自分たちの技術が役に立ち、喜んでいただけてうれしい」と話していました。

4月5日

ブランド力の強化を目指す 摩周そばの新しい乾燥調製施設が着工



くわ入れをひく摩周湖農協の山内代表理事組長(左)と摩周そば産組合の猪狩広昭組長(右)と新聞記者

摩周湖農協が新設する摩周そば乾燥工場の安全祈願祭が4月5日、跡佐登原野の建設地で行われました。祈願祭には工

事関係者など約50人が出席し、工事の無事を祈りました。新しい乾燥工場は、鉄鋼造平屋建てで約520平方メートル。総事業費は約4億円で、7月完成予定、今年の新そばから受け入れを始める計画です。町内10戸の生産農家が手掛ける摩周そばは、質の良さから各方面で高評価を得、特産品としても定着しています。新工場完成により処理能力が上がることで、さらなるブランド力の強化を目指していきます。

4月8日

ダーツやライブなどで楽しむ 大盛り上りの矢音祭 in KAWAYU



ダーツを楽しむ参加者

川湯温泉矢音祭実行委員会(宮崎健一実行委員長)主催の「矢音祭 in KAWAYU」が4月8日、川湯観光ホテルコンベンションホール「ラピュタ」で開催されました。

ダーツやライブなどを楽しむこのイベントは、川湯温泉の活気を取り戻すために同地区の若者が中心となって企画したもので、昨年に続いて2回目。ダーツ大会には町内外の愛好家約70人がエントリーし、熱戦を繰り広げました。ほかに、よさこい演舞や浴衣スリッパ卓球大会、シンガーソングライター・仙北谷春菜さんのライブなど多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

3月29日

総合的な学習の時間で弟子屈をPR 道の駅に小学生・高校生のパンフレットや新聞



皆さんも道の駅に来て見てみませんか

道の駅摩周温泉に弟子屈小学校児童・弟子屈高校生徒手作りのパンフレット、昭栄小学校児童の手による新聞が置かれ、観光客の評判を呼んでいます。

弟子屈小学校児童のパンフレットは、4年生(現5年生)の児童がグループに分かれて、町内のお薦めのお店などを紹介したものです。弟子屈高校生徒は、町内の観光スポットやお土産などを英語で紹介した、外国人向けのパンフレットを作りました。また、昭栄小学校3年(現4年)の三田村優音君は、道の駅について取材した壁新聞を掲示しています。

3月31日

アート愛好家に惜しまれながら 川湯のギャラリーが閉館



最後に飾った今井善昭さんの「Z EN CORRECTION」

2009年12月に川湯温泉街にオープンした2LAKeARTGALLERY(ツー・レイク・アート・ギャラリー)が3月31日をもって閉館しました。

同ギャラリーは、町内美術愛好家などに写真や陶芸などの芸術作品を発表する場を提供するとともに、観光客の皆さんなどに地域の文化に触れてもらいたいと開設されました。レッドルーム(赤)とブラックルーム(黒)の2つのスペースで構成され、これまで数々の企画展を開催してきましたが、一定の役割を終えたとして閉館となりました。

4月10日

道行くドライバーに交通安全を呼び掛ける 旗の波による街頭啓発



交通安全を呼び掛ける参加者

町交通安全運動推進協議会と町交通安全協会の共催による旗の波街頭啓発活動が、春の全国交通安全運動期間中の4月10日、摩周観光文化センター前の国道391号で行われました。

同運動期間中に毎年行われていて、今年は「交通死亡事故ゼロを目指す日」の4月10日に実施。開会式で同協議会長の徳永町長は「町内交通死亡事故ゼロが500日を超えた。この調子で記録を伸ばしたい」とあいさつ。その後、参加した関係者約100人は安全旗を手に、行き交うドライバーにパンフレットなどの啓発グッズを手渡し、交通安全を呼び掛けました。

4月11日

今年もたくさん学びます 「生きがい講座」の開講式



弟子屈学級の開講式

「生きがい講座」の開講式が、4月11日に公民館(弟子屈学級)で、20日に川湯ふるさと館(川湯学級)で、それぞれ行われました。

生きがい講座は60歳以上の方を対象に開講されていて、毎月1回、野外活動や体力づくり、体験学習などを行います。弟子屈学級には新しい学級生4人を含めた62人が、川湯学級には新しい学級生2人を含めた38人が入学しました。弟子屈学級の開校式では、学級生を代表して佐々木キヨさんが「生きがい講座での学びを通じて能力を高めたい」と誓いの言葉を述べました。

4月1日

楽しみながら自然について学んで エコミュージアムセンターの映像展示リニューアル



新しくなった映像展示

町内の自然や歴史、文化についての情報を得ることができる川湯エコミュージアムセンターの映像展示が、4月1日から大幅にリニューアルされました。クイズ形式

のタッチパネルでは、子どもたちも楽しみながら動物や植物について学べます。映像ルームでは、特殊な自然環境を生み出している秘密や移り変わる四季の美しさを、さまざまな角度からとらえた視点で見られます。移住してきた方はもちろん、長く住んでいる方でも新しい驚きがあるかもしれません。例えば「摩周湖と屈斜路湖って、どちらが先に誕生した？」答えは、エコミュージアムセンターに行けば分かります。

4月3日

長きにわたって安全・安心な町の推進に尽力 金子正男さんに暴力追放センター会長表彰



表彰状を受け取る金子さん左

弟子屈町暴力追放運動推進協議会副会長の金子正男さん(70歳・泉2)が、平成23年度暴力追放センター会長「暴力追放功労」表彰を受賞しました。

伝達式は4月3日、弟子屈警察署で行われ、谷口國廣同署長から表彰状が手渡されました。金子さんは、1986年2月に同協議会に入会。副会長として、暴力追放運動推進の中核を担ってきました。硫黄山で不法にゆで卵を販売していた暴力団の排除活動に積極的に参加するなどの功績が認められ今回の受賞となりました。

4月12日

火災予防士気の高揚を 林野火災予防対策協議会で意識を新たに



徳永会長のあいさつ(聞き手は参加者)

平成24年町林野火災予防対策協議会(会長・徳永町長)が4月12日、公民館で行われました。

同協議会は、町や道、根釧西部森林管理署、警察、消防本部などを中心に、関係企業や団体などで構成。林野火災危険期間(4～6月)のこの時期に全体会議を行い、予防対策の周知や徹底を行っています。協議会では、平成23年の林野火災発生状況などについて報告が行われたほか、今年度の林野火災予防対策実施計画について提案。参加者は、林野火災防止について意識を新たにしていました。

4月21日

地域の子どものために 今道東建設工業が社会貢献活動



重機を使って丁寧作業

(株)今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが4月21日、冬の間に川湯小学校の校舎周辺に積もった雪山を崩す作業を行いました。

子どもたちが1日も早くグラウンドを使えるようにと、社会貢献活動として行ったものです。大型の重機を使い、とても丁寧に作業を行っていました。